

萩にあしあと残そよ

## 「計画休務（自宅待機）の日々」

令和2年(2020)  
6月1日発行  
-第8号-

「あしあと」アート



## 贅沢なケーナ練習場

## ◆萩・魅力PR大使再任◆

日々の暮<sup>レ</sup>シ

「老後の一人暮らしみたいだよ」と隣室の同僚に話をし、笑われてしましました。室内で読書をしたり、ケーナを吹いたり、パソコンに向かつたりする日々。外出は、時々ランニングに出かけるほか、必要があれば食料品や日用品の買い出しに行く程度です。



萩にやん。と一緒に  
萩のPRを続けていきます

す。本紙の発行も、大使の活動として位置づけられるものになります。自分自身でも色々と見聞しながら、萩を紹介していくらうと思います。

◆萩・魅力PR大使再任◆  
明治維新一五〇年を機に、  
萩の魅力を伝える伝道師とし  
て募集された「萩・魅力PR  
大使」。昨年度末で任期満了と  
なりましたが、再募集に挙手

◆三条実美の歌碑◆

寮から近い明神池の畔に、  
幕末から明治にかけて活躍し、  
郷里の塩原温泉にも足跡の残  
る三条実美卿の歌碑が建つて  
います。昨年、萩市に越して  
きてすぐに見つけましたが、  
未報告につきご紹介します。

◆五月は夏みかんの季節◆

◆五月は夏みかんの季節◆  
萩暮らし当初からお世話になつてゐる組内の平生さんから、もぎたての夏みかんをいただきました。甘酸っぱくて瑞々しい果実に、爽やかな気分になりました。おかげさまで、実家の両親にも送り届けられ、ごくごく。



「この国の廻りぬ水」すむ魚生  
游ふやまやく勇ましきかな

◆友人の田植えの手伝い◆

◆友人の田植えの手伝い◆  
美祢市の友人から声がかか  
り、五月三〇日に田植えの手  
伝いをしました。苗箱を運ん  
だり、洗つたりする程度です  
が、昨年よりは「手」になれ  
たような気がします。この友  
人のおかげで、米を買うこと  
なく萩暮らしができます。本  
当にありがたいことです。本



5月末に田植え  
9月下旬に稲刈り

◆雨情特別号・後日談◆

四月に発行した野口雨情特別号を、鹿沼市の山登氏（雨情系）この号付して三〇、

お返事とともに資料をお送りくださいました。世間も少し落ち着いた五月末、報告を兼ねて末武氏を訪ね、特別号をお見せすることもできました。紙面を絶賛いただき、お店に置きたいと言つてくださいました。嬉しいですね。

## 「自由気ままな歌日記」

### 〔萩に関する自由研究〕

小魚の群れ一斉に鰐振れば  
さざ波の立つ静穏の川

(五月五日)

高堀に夏柑の花見えぬとも  
甘い香りはあふれ漂う

(五月五日)

自宅にて  
こもれる日々に慣れたれば

欲も少なく鎮まる心

(五月二〇日)

「仕事はどうだい？」

コロナ禍により、五月は  
丸々計画休務、いわゆる自宅

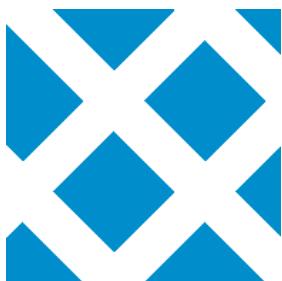
待機で過ごしました。たまに

はと思った朝礼にも「出る必  
要はない」と言われ、少し寂

しい気持ちでした。

ところが、環境には次第に  
馴染むもので、読書や書き物  
をする毎日に苦痛を感じにく  
くなつてきました。

でも、少しずつ「社会復帰」  
に向けての準備を始めていま  
す。本格的な活動はまだ先に  
なりますが、仕事に向かう姿  
勢を正して、できることに取  
り組んでいきます。



城下町・萩らしい

#### ◆市章◆

萩市のシンボルでもある城  
下町の土壠の文様をモチーフ  
に、全国の中であつても一見  
で「城下町・萩」と認識でき  
るよう記号化されたもの。

#### ◆市の木◆ヒノキ・マツ

松といえば、菊ヶ浜や橋

本川沿いに見られる黒松が  
見事。山間部には赤松もみ  
られる。桧については、建

築用材調達のために各地に  
多く植林されているため。

市のホームページを見て  
たら、萩の紹介に使えるネタ  
があつたので少し調べを進め  
てみました。

きっかけは、萩にまつわる  
曲をケーナで吹いてみたいと  
思ったからで、探していたら

「萩のよろこび」の音楽ファ  
イルや譜面をダウンロードす  
ることができることが分かり  
ました。なかなか素敵なメロ  
ディで、吹いたり歌つたりし  
て親しんでいます。

#### ◆市の花◆ツバキ・ハギ

椿といえば笠山の虎ヶ崎  
周辺の群生林。約二万五千  
本のヤブツバキが繁る。

「萩」という地名の由来  
として、ツバキがつまつて  
ハギになつたという説と、  
周辺に萩がたくさん生い茂  
る山があつたという説とが  
あるらしい。

#### ◆萩市民の歌◆ 『萩のよろこび』

作詞 岡 輝明  
作曲 津室ひとみ

一 潮の香運ぶ 朝風に  
希望に弾む 窓開ける

みんなでつくる わがまちは  
みどり輝く 花のまち

萩に生まれた喜びを  
ああ ふるさと萩は  
ふれあいつくる 虹のまち

萩に育つた喜びを  
ああ ふるさと萩は  
夢をかなえる 学びのまち

唱おう 唱おう  
城下の松も 映えて流(ゆ)く  
友と語らう わがまちは

唱おう 唱おう  
萩の城下町の風景に欠か  
せない夏みかん。明治九年  
(一八七六)、明治維新によ  
り職を失つた武士への救済  
措置として栽培が始まつた。  
現在も農地のみならず、あ  
ちこちで目にする。

#### ◆市の果樹◆ナツミカン

萩の城下町の風景に欠か  
せない夏みかん。明治九年  
(一八七六)、明治維新によ  
り職を失つた武士への救済  
措置として栽培が始まつた。  
現在も農地のみならず、あ  
ちこちで目にする。

三 めぐる季節の やさしさに  
笑顔あふれる 灯がともる  
心をつなぐ わがまちは  
実り豊かな 恵みのまち



六月になると市内各地で  
ホタルが見られ、イベント  
等も開催される。

#### ◆市の生物◆ホタル

萩市に住みなす喜びを  
ああ ふるさと萩は  
愛を育てる 人のまち

萩市に住みなす喜びを  
ああ ふるさと萩は  
愛を育てる 人のまち

